

第47期卒業生代表の言葉

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

3年前の入学式。慣れない制服に身を包み、周りは「はじめまして」の人ばかり。期待と同じぐらい、不安と緊張でいっぱいでした。あの日から3年。私たちは卒業の日を迎えました。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人の優しさを知ることがある。

最高学年となり、私たちはたくさんの壁にぶつかりました。仲間と挑んだ最後の大会。何度も乗り越えたテスト。一つ一つが、中学校最後となる行事。うまくいかない日も、悔しくて涙を流した日もありました。それでも、仲間の「ありがとう」に励まされ、私たちは最後の一步まで走り続けることができました。

「頑張ってる」

この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえることがある。

「全員が楽しめる文化祭にしたい！」

その思いで準備をすすめた北都文化祭。みんなが満足できる企画を考えることは、決して簡単ではありませんでした。何度も立ち止まり、悩みました。そんなとき、「生徒会、頑張ってる！」の一言に勇気ももらい、ハートフルで温かい文化祭をつくり上げることができました。文化祭当日。楽しそうに参加する皆さんの姿を見たとき「ここまで頑張ってきて本当によかった」と、心の底から思えました。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉に、幸せにあふれることがある。

私たちの最高の思い出。最後の合唱コンクール。どのクラスも誇りをかけ、本気で最優秀賞を目指しました。円陣を組んだ後、指揮者を見つめ、心をひとつにして歌う姿。本当にかっこよかった。全てのクラスが金賞をもらうことはできなかったけれど、素直に「おめでとう」を言い合えた私たち。

3年生はお互いの努力を認めあえる、幸せにあふれた学年です。

在校生のみなさん。みなさんの言葉や応援に、私たちは何度も勇気ももらいました。北都中学校の伝統である挨拶と合唱を大切に、ハートフルであたたかい学校をこれからも築いていってください。

先生方。私たちを楽しませるためにギターや弾き語りをしたり、スピーチをする場を設けて、笑いの絶えないクラスにしてくださったこと。合唱コンクールの日の朝。「あなたはGOLD 金賞です」と書いたお守りを、全員の机に置いてくださったこと。合唱コンクール直前、みんなの気持ちが沈んだとき、

「パワー」と叫んで励ましてくださったこと。難曲であるアカペラの曲に挑む私たちのために、実際に歌ってアドバイスをしてくださったこと。どんなときも笑顔を絶やさず「何かいいことがある人？」と、私たちの考えを聞いてくださったこと。たくさんの愛情を本当にありがとうございました。これからはそれぞれの「扉」を開き、自分の道をしっかり歩いていきます。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

家族のみんな。15年間、ずっと一番近くで支えてくれてありがとう。嬉しいときも辛いときも、いつも味方でいてくれてありがとう。素直になれなくて「ごめんなさい」。わがままばかりで「ごめんなさい」。たくさんの応援に答えられなくて「ごめんなさい」。どんな私たちも包み込み、見守ってくれた家族が、本当に大好きです。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになることがある。

3年生のみんな。あっという間の3年間でした。一人ひとりが個性の「花火」を打ち上げ、いろんな人が「スター」として活躍できる学年でした。自分のためだけでなく、誰かのためにも生きることができた私たちは、安心して過ごせる学年を作ることができました。北都中学校で過ごした毎日が、思い出として心に刻まれています。私たちにはもうすぐ「さようなら」の 때가やってきます。進む道はそれぞれ違って、176名の絆はきえることはありません。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉で、人を笑顔にすることができる。

この3年間。最高の仲間と囲まれ、温かい眼差しで見守られながら生活できたこと。本当に幸せでした。ありがとうございました。

在校生代表の言葉

「カッコいい」。これが私の3年生の皆さんの印象です。3年生の先輩方が見せてくださった背中はいつもカッコよく、私達の憧れであり、目標でした。

2年前の4月。新しい環境に不安を抱えたまま迎えた入学式。そんな私達を温かく迎えてくださったのが、先輩方でした。特に、印象に残っているのは、新入生歓迎会です。ステージの上で堂々と発表する姿や会場を盛り上げる明るい笑顔。新入生歓迎会で見た先輩の姿はととても輝いていて「私もこんな先輩になりたい」と強く感じました。

部活動や委員会活動、そして学校行事。日常の何気ない場面でさえも先輩方はいつも全力でした。うまくいかないときも決して諦めず、最後までやり抜く姿。仲間を思いやり、支え合う姿。どんなときも学校の顔となり、私達を引っ張ってくださいました。その一つ一つの行動が私達にとって大きな学びになりました。

合唱コンクールでは全員が一つの目標に向かって一人ひとりが本気で取り組む姿がとても印象的でした。本番では、クラス全員が心を一つにして取り組んでいる様子が伝わり、その一体感のある合唱には圧倒されました。仲間を信じ、支え合いながら最高の形を作り上げた3年生の皆さんの合唱は、本当にかっこよかったです。

文化祭の最後に行われた全員ダンスでは、ステージに立つ人も自分の席で盛り上がる人も、全員が一緒になって楽しめるような工夫がされていました。振り付けや声掛けで自然に全体を巻き込み、笑顔があふれる最高の時間になりました。

その瞬間はクラスや学年を超えて全校生徒が繋がり、まさに先輩方がいつも大切にしてきた「Heartful～あたたかい心でつながる学校～」という言葉そのものでした。

素敵な挨拶をしてくれた人にカードを配り、学校中が挨拶で溢れかえったあいさつ運動。日常生活で感じた「ありがとう」をハートのカードに書いてもらい、北都中がありがとうでいっぱいになったHeartful week。どんなときも北都中学校を大切に想い、よりよい学校にしようとしてきた先輩方の気持ちは、私達の心に強く刻まれました。

そして次は、私達が先輩方の思いを受け継ぎ、新たな北都中学校を創り上げていく番です。先輩方が築き上げてくださったこのあたたかな北都中学校を大切に守り、さらに発展させていきます。これまで受け継がれてきた伝統を大切にしながら、仲間との絆をしっかりと結び、次のステップへ進んでいきます。今まで、本当にありがとうございました。

これからの先輩方の未来が笑顔と希望であふれる素晴らしいものとなることを願っています。

在校生を代表して、心から感謝とお祝いの言葉を送ります。